

学校教育目標	根岸中学校は生徒一人ひとりの個性を大切にしながら、自らの可能性を信じてたえず成長していこうとする人間の育成を目指します。			
	【知】自ら進んで学び、粘り強く課題を解決する力	【徳】自他の生命を尊重し、やさしさと感謝の気持ちで他者に接する心	【体】基本的な生活習慣を身につけ、健康・体力づくりに励む姿	【公】地域とのかかわりを大切に、進んで行動する態度
学校概要	創立 76 周年	学校長 山岸 和美	副校長 根岸 周	3 学期制 一般学級: 10 個別支援学級: 2
	児童生徒数: 320 人	主な関係校: 根岸小学校、磯子小学校、滝頭小学校		

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	根岸中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
心身のたくましさや心のしなやかさを兼ね備えた生徒 コミュニケーションや論理的思考につながる言語活用力	根岸中学校 根岸小学校	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の良さを発揮し、すすんで学ぶ子、 ●地域社会に貢献する子、●感謝と思いやりの心をもつ子 ・小中間で授業参観の実施(全学年・全学級) ・児童生徒交流日の授業公開と部活動体験・見学会 ・小中合同職員研修会の実施 ・小中系統カリキュラムの編成

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、育成する資質・能力の伸長を目指します。 ・困難を克服するために、集団づくりを通して自他を尊重し、コミュニケーション力を向上させます。 ・「食」の大切さを理解し、体力づくりを通して心身ともにたくましく生きる力を身に付けます。 ・地域や社会のために他者と協働する力をつけます。 ・粘り強く諦めない心を育て、人間性の向上を目指します。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 充実した学びの保障	①持続可能な学校のあり方を探る実践モデル校として、授業時間の適切な配置と学習指導内容の充実を図る(教務・教育課程委員会)。 ②主体的に学習に取り組む態度の育成に焦点を当てて具体的な活動内容を確立するとともに、その適正な評価規準について全教科でスタンダードを作成する(学習指導部)。
徳 豊かな心の育成	①道徳科・特別活動をはじめとするあらゆる場面で、生徒の心身ともに健やかな成長を支えるよう推進役を担う(教育課程委員会)。 ②日常の生徒会活動や学級活動、班活動等を通じて、他者の考えを尊重したり自分の考えを伝えようとするコミュニケーション能力を伸ばしたりする(特活指導部)。 ③教職員のカウンセリングマインドを磨き、個々の生徒の悩みや不安に寄り添いながら、一歩先に進めるように支援する(生活・保健安全指導部)。
体 健やかな体の育成	①生徒の成長の土台となる健やかな体の育成に向け、起床睡眠等の規則正しい生活リズムの確立や食に関する豊かな知識と経験を積ませる(教育課程委員会)。 ②健やかな体育成委員会の2年目の取組として、食育のより一層の充実を図るとともに、基本的な生活習慣の確立や科学的根拠に基づく体力の向上を目指す(健やかな体育成委員会)。
公開 様々な人との関わり	①職業講話、職場体験を中心に、様々な場面で地域との連携を図り、社会に必要な力を身に付けていく。(研究部:総合)②地域行事への参加を通して、地域の一員である意識をもち、他者とともに安心・安全な地域社会を作ろうとする姿勢を育む。(生徒指導専任)
いじめへの対応	①記名式のいじめアンケートを実施し、生徒の回答を丁寧に見取り、いじめ等の実態の早期発見、未然防止を図る。普段から子どもに寄り添う指導を心がけ、相談しやすい雰囲気大切に作る。 ②定期的ないじめ防止対策委員会を開催し、情報共有や現状把握を図るとともに、迅速かつ組織的対応に努める。 ③道徳部会・特活指導部・YP実践推進委員会と連携して、いじめ防止の土壌を作る。(生徒指導部)
人材育成・組織運営(働き方)	①モデル校事業に携わった2年間の経験をもとに、より柔軟な発想で「働きやすい環境・枠組」の中で「質の高い学び」の実現を目指したい。また、小中ブロックでの協働がより一層必要になる。 ②「主体的に学習に取り組む態度」の育成と妥当性のある評価の実現に向けて、1学期中に外部講師を招いた研修会を開催する。 ③ベテラン教員の経験を享受するとともに、新しい時代を担う中堅・若手教職員ならではのスキルを発揮させながら、活気あるチーム作りを目指す。
特別支援	①通常学級への参加を可能な範囲で深め、共生社会の形成に向けて、経験を広め、社会性を養い、豊かな人間性を育てる。 ②互いを認め合うことで多様性を尊重する心を育むと共に自己肯定感を高める。 ③自分のよさや可能性を発揮してよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な活動を設定する。
自分づくり教育	①「自立のための基礎力」を意識させて資質・能力の向上を推進し、はまっこ未来カンパニーの活動を通して、キャリアアップを図る。 ②子どもの社会的スキル横浜プログラムを活用し、子ども一人ひとりの、個の力を育てるとともに、個が育つための集団を育てる。(YP実践推進委員会)